

みんなねっと 福井県かれん新聞第95号 (奇数月 発行)

事務局 ホットサポートふくい内〒910-0026 福井市光陽2-3-36

福井県総合福祉相談所内 電話0776-24-5135

1) みんなねっと福井けんかれん 2022年 11月1日

* 障がいのをりこえるために



もくじ

- ・ ハートフル文化祭について . . . (1)
- ・ 県研修会報告 . . . (2)
- ・ お知らせ・県家連のホームページ . . . (3)
- ・ みんなねっと広島大会 . . . (4)

ハートフル文化祭

日時： 12月3日(土) 10:30~16:00

~ 4日(日) 10:00~16:00

会場： ショッピングセンターベル あじさいホール

実施内容：① 作品展

② 発表動画 . . . 演奏、合唱、ダンスなど

③ インターネット販売、即売コーナー

* みんなねっと誌 購読 しましょう！ 例会などで活用を！

* 「けんかれん新聞」に原稿や意見・質問などの投稿を！

* 家族会例会をしましょう。集まって話合うのが健康にもいいです。

* {みんなねっと誌} を読みましょう。

福井県精神保健福祉家族会連合会 研修会の報告

スローガン「誰もが安心して住み続けられる社会をめざして！」で、**10月22日(土)**に福井県自治会館で開催されました。**10時から講演会は、**テーマ「精神障害者と付き合いながら働くということ」、講師の爲國正芳氏（スタンドトゥギアザー代表）が話されました。参加者は、約40名でした。

分科会は、13時～ 第一分科会、「地域での本人の回復・自立と家族支援」川口めぐみ氏(福井大学医学部看護学科教員)が助言者。第二分科会は、「高齢化80・50問題と家族会の活性」持田忠司氏（福井県立病院 臨床心理士)が助言者で行われました。各分科会とも、活発な話し合いがなされました。

報告集は、各家族会にありますので御覧ください。

研修会のアンケートより

1. 性別・・・1) 男 5名 2) 女 14名
2. 年齢 20代 2名 30代 3名 40代 2名 50代 3名 60代1名 70代以上6名
3. 地区名・(福井市9名、あわら市2名、坂井市2名、鯖江市3名)
4. 所属について 1) 家族会7名 2) 本人3名 3) 施設関係者4名
4)行政関係者1名 5) 一般 4名
- 5 爲國氏の講演について
1) とても良かった。19名 2) まあまあ良かった。0名

(感想) ・たとえ話を聞いて、わかりやすく説明していただいたので、障がい福祉にあまりなじみのない自分でも理解しやすかったです。ありがとうございました。もう一度、お話を聞きたいです。・厳しい事も伝えてくださる内容に誠実さを感じました。・家族のあり方の大事さに気づかされ、本人のためにやれることを、また、模索しようと希望を持ちました。リアリティがあつて良かった。悩んでいた事が分かった。・とても聞きやすくてためになりました。・精神障がい者の方の就労について基本的な内容から、時代に合わせた今の就労支援について分かり易いご説明で、理解することができました。家族としての本人への関わり方、支援者としても分かったうえで関わらないといけないと思いました。・具体的で良かったです。・分かり易く良かったです。特にパワーポイントが。・話し方が良くて勉強になりました。・本人側、雇用者側、家族側、いろいろな側面からのお話で、話k利易くてとても面白かったです。・どういう風に働くということについて自分をみつめて、課題に取り組むか？企業様のお考えや、制度など、いろんな観点の事を知って、自分

3) みんなねっと 福井県か連新聞 2022年 11月1日

>の考えを広めていくのにいろいろな方のご意見が聴けてとても良かった。

6 分科会について (1, 2) 分科会

1) とても良かった。3名 2) まあまあ良かった。1名 3) あまり良くなかった。

(感想)・80・50問題について詳しく語り合えて良かったです。

・毎年、同じ話題で進歩がなく、提案者も時間をかけすぎる。もう少しスピードアップして欲しい。(第2)

・自立と家族支援、本人の回復、いろいろな話を聞いてとても良かった。(第1)

*その他 会の運営などについて

1) とても良かった。8名 2) まあまあ良かった。2名

(感想)・楽しかったです。ありがとうございました。

・みんな熱意があると感じた。分科会は参加できず残念。 以上

お知らせ

***県家連のホームページ PC やスマホから見られます。**

福井県精神保健福祉家族会連合会(けんかれん)



アドレス <https://fukui-kenkaren.com> /

・スマホをお持ちの方が多いです。是非、ご活用ください。また、ホームページへのご意見などもお願いします。高齢化、コロナ下で、お会いできない分を、ホームページで補いたいと思っています。

・使い方の不明な方は、家族会の世話人、施設の職員など、サポートをしてもらってください。

・「つぶやき」など連載しています。皆さんの声も上記アドレスへ投稿してください。

報告

*9月2日(金) 第1回ハートフル文化祭実行委員会 竹内、小寺出席

*10月27日(木) 福井県障がい者施策推進協議会 オンライン 小寺

4) みんなねっと 福井けんかれん新聞 2022年 11月1日

みんなねっと 広島大会 2022. 10. 13~14

テーマ：愛と自立を語ろう！～みんなが自立し心ゆたかに、平和な社会を～

晴天、久しぶりの対面での大会。会場は、多くの人の熱気に包まれた。オンラインでも配信。福井県から、2名の参加。北海道から沖縄まで全国から集まりました。た。

1日目 *講演1「地域での生活」石井知行氏（広島県障害者自立支援協会長・医師）

地域包括ケアシステムが、当事者・家族を中心として役立つためには、家族会の社会的活動が必要であり、発展が期待される。

*講演2「誰もが自分らしく暮らせる地域のために」藤井千代氏（国立精神・神経医療研究センター部長・医師）

優しい語り口で、精神障がいを持つ人々の中には、サポートが必要だという声をあげられない人、助けを求めたくても、どこに助けを求めたらよいかわからない人、助けを求めたのに適切なサポートを受けられない人まだまだ多い。この問題に対応していくには、当事者や家族会の声をもっと地域づくりの施策に反映する必要がある。地域づくりのあらゆる施策や制度に、メンタルヘルスや精神障がい支援の視点を入れていくことが求められている時代です。

*活動報告 岡田久美子みんなねっと理事長

WEBの積極的な活用。賛助会員（みんなねっと誌購読者数）は、会員減少傾向はぬぐえず、1万人を大きく割り込んでいる。活動は地道に実施している。

*原爆被爆体験 八幡照子氏 1937年生まれ 8歳の時、爆心地から

2.5km離れた自宅から出かけようとした時に裏庭で被爆。広島平和記念資料館の被爆証言者として、2019年4月から活動を開始。

投下時、国民学校の1年生。食べるものは、雑炊、すいとん。6年生は、校庭で竹槍をもって行進練習。その日は朝から空襲警報がなっていた。分散授業が寺などで行われていた。

2日目 分科会 第2に出た。「家族相談支援の在り方」

1 小畑勝己氏（広島県精神保健福祉家族会連合会）

病気を理解して欲しい・周りの人が諦めないで欲しい・距離間を大切にしたい・否定しない・一番しんどいのは本人だ・メディア、教育の中でもっと精神疾患を取り上げて頂き、まだまだ根強い世間の方の差別・偏見をなくし、正しい理解を持って頂きたいです。

2 大歳明子氏（ACTひろしま・精神保健福祉士）

今年4月からACTを始めました。メンバーは、看護師・作業療法士、心理士と大歳さんの4名です。365日、24時間です。

3 金子百合子氏（地域生活支援センターまほろば 広島）

センターで「家族のつどい」を開催している。

以上 文責：小寺